



市有地の処分（売却）について（東折尾地区市有地開発事業）

令和4年3月9日に処分したJR陣原駅南口の市有地について、開発計画に変更がありました。変更後の開発の詳細は次のとおりです。（赤文字：変更箇所）

1 市有地の処分の概要

○土地の地目及び所在地

地 目：宅地

所在地：八幡西区陣原一丁目

2番103・2番106・2番107・2番108・2番109

○土地の面積

2万500.01平方メートル

○売払い金額

18億46万円（募集における最低売却価格：約14億14百万円）

○契約締結日

令和4年3月9日

2 処分の相手方の概要

(1) 選定方法：公募型プロポーザル方式（総合評価方式）

相手方

（処分時）株式会社松尾組・医療法人しょうわ会・大英産業株式会社

（現在）医療法人しょうわ会・大英産業株式会社・株式会社唐十・
有限会社萌木・株式会社九州メディカル

(2) 事業計画（提案内容）

- ・コンセプト：～あんしんとにぎわいとやすらぎの街～
「駅前＜医・商・住＞複合施設」
- ・事業期間：令和4年4月～令和7年5月（予定）
- ・医療提供施設：病院棟 病床数183床（5階建て、建物面積13,200㎡）
アメニティ棟（2階建て、建物面積980㎡）
立体駐車場棟 240台（3層4段、建物面積4,100㎡）
薬局棟（1階建て、建物面積150㎡）
- ・商業施設：スーパーマーケット（2階建て、建物面積3,600㎡）
- ・共同住宅：48戸（13階建て、建物面積3,900㎡）

3 スケジュール（予定）

- ・令和4年9月 工事着手
- ・令和7年5月 まちびらき
（全ての施設が完成した時点で「まちびらき」を行う予定）

（位置図）



○開発事業予定者の事業計画

＜松尾組・しょうわ会・大英産業連合体＞

「駅前＜^い医・^{しょう}商・^{じゅう}住＞複合施設」

「街なか」発展拠点

開発理念

- 地域住民の健康を支え、安心して暮らせる「街なか」環境を整える。
- 地域住民の生活利便性を高め、にぎわいと豊かなアメニティを創造する。
- 「街なか」居住を促進し、持続的な地域の発展と周辺開発への波及を目指す。

基本方針

「あんしん」「にぎわい」「やすらぎ」を生み出し、「街なか」発展拠点となる、「駅前＜医・商・住＞複合施設」を実現します。

- あんしん：地域住民の健康を支える＜医療機能＞を導入し、安心な暮らしをサポートします。
- にぎわい：地域住民の利便性を高める＜商業施設＞を導入し、にぎわいを創出します。
- やすらぎ：「街なか」居住を促進する＜共同住宅＞を導入し、持続的な地域の発展と周辺開発への波及を目指します。



